

第72回 大久保 らなさん (東京大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第72回目は、大久保 らなさんにご執筆いただきました。

色知覚の研究との出会い

私の研究の入り口は、「色字共感覚」という現象でした。これは、文字に対して固有の色を感じるという認知的現象で、人口の2%程度が保有すると言われています。学部生だった私は、なんだかおもしろそうだなあ、と研究を始めたのですが、なぜ物理的には存在しない色の感覚が脳内に生じるのか、また直接的な抽出が難しいそのような認知的性質を、制御された行動実験を通してどのように解明できるかというチャレンジングな試みに次第に魅了されていきました。共感覚の研究を通して、私は人間の視覚処理、特に網膜に入力された刺激をより直接的に反映するボトムアップ型の処理が主に強調されてきた色の知覚に対して、どのように記憶や注意などのトップダウン処理の関わり合いがあるかに興味があるということに気づくことができました。現在は共感覚の研究だけでなく、より一般的な色知覚についての研究を開始しています。視覚研究の奥深い世界に足を踏み入れたばかりですが、色が見えるとはどういうことかについて、コツコツ研究を続けたいと思います。

大久保 らな (Lana OKUBO)

【所属】 東京大学 人文社会系研究科

【連絡先】 okubo@l.u-tokyo.ac.jp

【HP】 https://researchmap.jp/lana_okubo